

OME city おそき DE 田舎暮らし体験 参加者募集

小曾木地区の皆様もご遠慮なく申し込みください。稲刈り、いも掘り、かまどで米炊き、いも煮(おそき風)を行う、プチ田舎暮らし体験です。

主催：おそきの学校と地域を考える会、青梅市
協力：小曾木っ子の会、おやじの会、(特)子どもと文化のNPO 子ども劇場西多摩風の子サークル、岩蔵温泉儘多屋、司翠館

実施日：平成26年10月19日(日)午前10時～午後2時(雨天決行)

場所：青梅市富岡1丁目336番地近辺【乙黒耕地】
内容：稲刈り体験&里芋掘り⇒かまどで米炊き&いも煮作り(おそき風)

募集人員、応募方法：①小中学生と保護者30組
②成人一般10人(抽選)

※市外からの参加歓迎。応募者多数の場合には抽選。
応募期間：締切9月30日必着。メールまたは往復はがきにて。

メール：div0930@city.ome.tokyo.jp
往復はがき：〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1

青梅市生活安全部住宅課「おそき いいところ再発見」係

〈往信裏〉参加者全員の氏名、年齢(学年)、住所、電話番号、参加へ向けてのコメント

〈返信表〉郵便番号、住所、氏名を記入
問い合わせ先：青梅市住宅課 TEL0428-22-1111(代表)

その他：希望者は終了後に、近くの岩蔵温泉司翠館、儘多屋にて有料入浴可
※服装や持ち物などの詳細は、抽選結果通知の際にお知らせします。



青梅市が小曾木地区をモデル地区として進めている「小曾木地区空き家活用事業」について

現在、青梅市では「青梅市住宅課(行政)」、「青梅市住宅施策推進協議会(住宅事業者団体)」、「おそきの学校と地域を考える会(地域団体)」の3者による協働事業として、「小曾木地区空き家活用事業」を進めています。

昨年の青梅市調査によると、青梅市には1,195棟、小曾木地区に71棟の空き家があります。外観調査ではありますが、小曾木地区の空き家のうち35棟は改修しなくても使用可能な建物、31棟は改修すれば使用可能な建物状況となっています。

考える会では、地域から情報収集を行って、協働事業を通じて決して少なくない小曾木地区への居住希望者の居住へつなげられるよう事業を進めています。小曾木地区で空き家の賃貸化や売却を検討されている方は、ぜひ、事務局若林 090-2173-9267 まで連絡願います。

編集後記

人が住環境に求めるものは様々あると思います。

若い世代は、交通の利便性や都会的でおしゃれな街並みを重視するかもしれません。子育て世代は子どもがのびのびできる環境を、またその後は静かで穏やかな土地柄、緑が多く良い空気を、土地の価格を優先に考えられる場合もあるかもしれません。

小曾木に住み始め20年近くになりますが、子育てをしていく中でこの地区の人口減少を実感しています。やはり交通の不便さから住みにくいという声

◎「おそき一斉メール」に登録を！！

地域情報を週1回程度、また、緊急時に地域情報を登録された方に無料でメール配信しています。

下記アドレスに空メールを送ると登録できます。

osokinogakkou@gmail.com

◎ ブログで地域情報の発信をしています。

「おそきだより」よりも詳細で早い情報の発信となっています。おそきの学校で検索できます。

◎ おそきだよりへの記事、行事、写真等の紹介をお願いします

ご連絡はおそき一斉メールアドレスへメール、または、小曾木市民センターへお願い致します。



1面表題脇の乙黒地区のスズメの写真

富岡1丁目の乙黒地区に見られる野鳥にカメラを向け、多数の写真展に入賞されている富岡1丁目在住の山崎弘さんご提供の「乙黒地区野鳥の四季シリーズ」を掲載しています。

をよく聞きます。けれど、それ以外の部分に目を向けると、小曾木はまさに静かで穏やかで緑が多く、都心へのアクセスも電車や高速に乗ってしまえば実はそんなに悪くはありません。何より地域力、人とのつながりは誇れるものがあります。「不便さ」というデメリットは、一人ひとりがその改善のために何ができるかを考えるだけで少しずつでも改善していけるかもしれません。「考える会」はそんな思いを持ち寄って大きな力に変えることのできる場として、もっと身近に感じてもらえたらいいなと思っています。

(吉崎由美)